

31. 宮の原地区

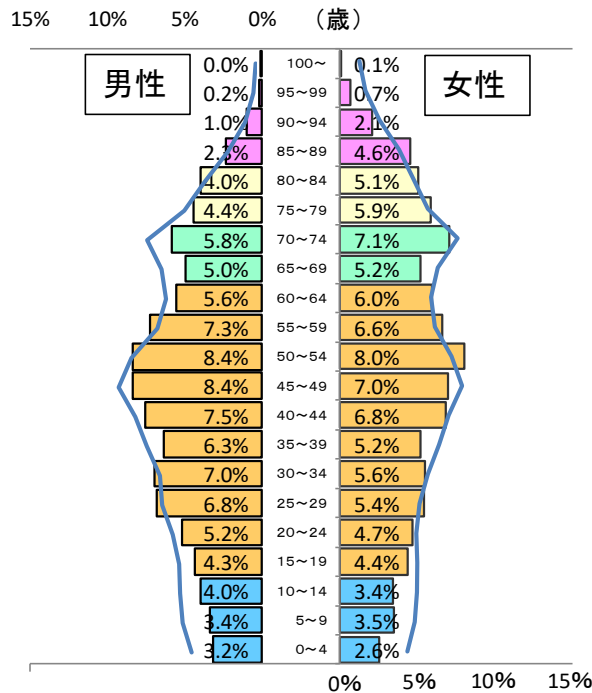
(1) 地域資源・生活環境の状況

ア 地域資源・生活環境の状況

- ・総人口：7,960人（男性3,957人、女性4,003人）
- ・世帯数：4,026世帯（1世帯あたり1.98人）
- ・国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者数：3,874人
- ・高齢化率：26.8%（市全体25.7%）
- ・後期高齢者比率：15.2%（市全体12.5%）
- ・要介護認定率：21.1%（市全体18.0%）

資料：住民基本台帳人口（R3.9.30）等

図Ⅱ-Ⅱ-1 性別・5歳階級別人口



資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-2 年齢3階級別構成比（R3.9.30）

	地区	市全体
15歳未満	10.0%	12.9%
15～64歳	63.2%	61.4%
65～74歳	11.6%	13.2%
75～84歳	9.7%	8.6%
85歳以上	5.5%	3.9%

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-3 人口指数（R3.9.30）

	地区	市全体
従属人口指数	58.1	62.9
老年人口指数	42.3	41.8
年少人口指数	15.8	21.0
老年化指数	267.4	198.8

資料：住民基本台帳

図Ⅱ-Ⅱ-4 産業別就業人口構成比（R2）

	地区	市全体
第1次産業	0.7%	2.3%
第2次産業	22.4%	25.4%
第3次産業	72.8%	68.6%

資料：令和2年国勢調査

イ 地域組織・活動の状況

自治会	自治会数	16自治会
	加入世帯数	2,028世帯
安全・安心にかかる取組	・環境点検 ・夜間避難訓練 ・夜間パトロール（防犯会） ・宮の原地区防災訓練（昼の部） ・地区自主防災会等を中心とした防災訓練の実施	
スポーツ行事	5月：地区親善ゴルフ大会 5月：球技大会 6月：親善グラウンドゴルフ 9月：親善輪投げ大会※規模を縮小し実施 9月：地区学童スポーツ大会（輪投げ）※中止 10月：体育祭※規模を縮小し実施 11月：歩け歩け大会（老連）※中止	
地区イベント	11月：夏まつり※中止 11月：文化祭	

資料：令和4年度宇都宮市みんなでまちづくり課地域支援データ

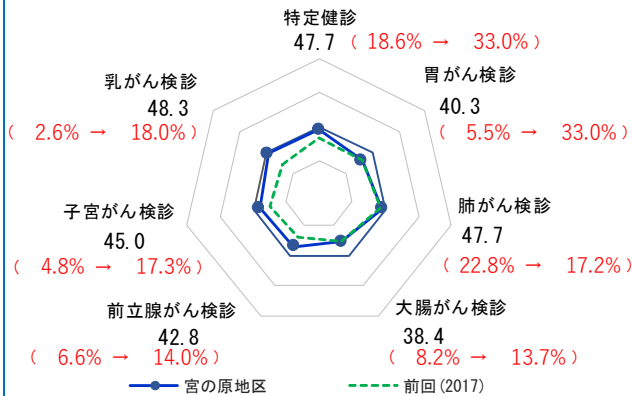
(2) 健診・医療・介護 (KDB 等)

ア 健診の状況

(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90、下限を 10 とした場合の値、* 90、* 10 は上限・下限を超える値)

① 特定健診等受診率 (大きいほど良い)

(対象) 特定健診: 国民健康保険被保険者
 胃・肺・大腸がん: 40歳以上
 前立腺がん: 50歳以上 (男性のみ)
 子宮がん: 20歳以上 (女性のみ)
 乳がん: 30歳以上 (女性のみ)
 (40歳以上は2年に1回)

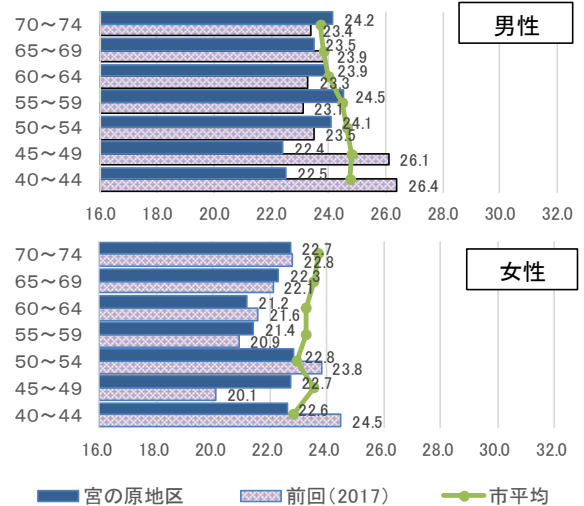


* () 内は実際の受診率の経年変化を指す

資料: 令和3年度 KDB 等データ

② BMI (年齢別平均値)

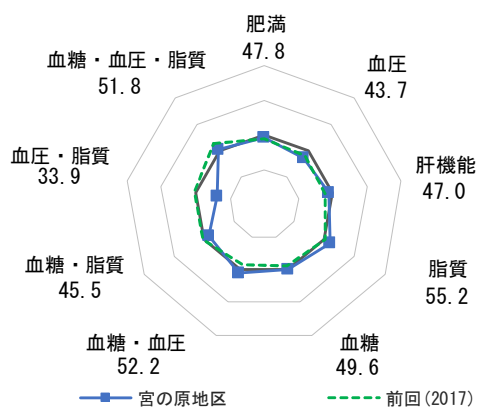
(対象) 国民健康保険被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

③ 生活習慣病リスク保有率 (小さいほど良い)

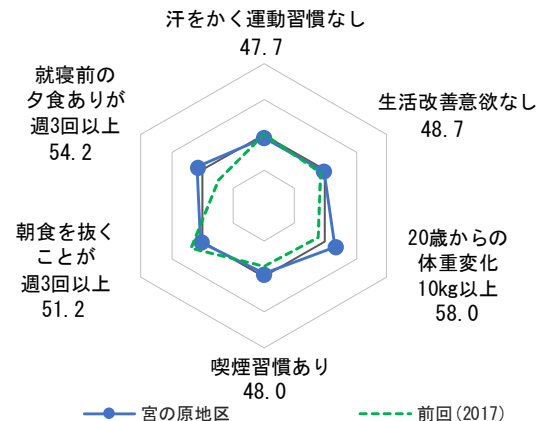
(対象) 国民健康保険被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

④ 行動特性 (小さいほど良い)

(対象) 国民健康保険被保険者

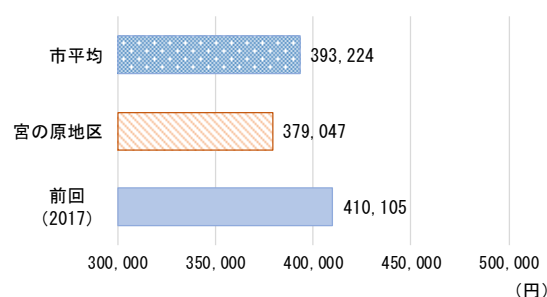


資料: 令和3年度 KDB データ

イ 医療の状況

① 1人当たり年間医療費等

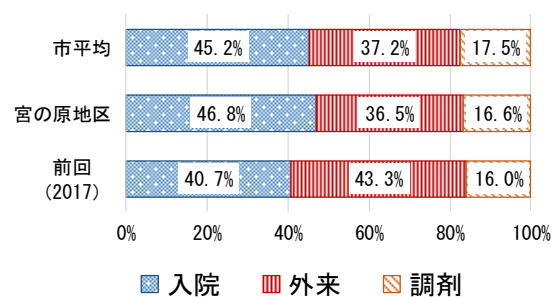
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

② 入院・外来・調剤別医療費の割合

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料: 令和3年度 KDB データ

③ 医療費の内訳（構成比）（対象）国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

	市全体	地区	前回
糖尿病	4.73%	6.53% (↑)	4.63%
高血圧症	8.33%	7.61% (↓)	4.44%
脂質異常症	0.02%	0.01% (=)	3.57%
高尿酸血症	0.84%	0.95% (=)	0.09%
脂肪肝	0.08%	0.04% (=)	0.27%
動脈硬化症	0.00%	0.00% (=)	0.34%
脳出血	0.15%	0.10% (=)	0.34%
脳梗塞	0.90%	0.53% (=)	1.79%

	市全体	地区	前回
狭心症	1.56%	0.76% (↓)	3.91%
心筋梗塞	0.12%	0.08% (=)	0.52%
がん	4.46%	7.85% (↑)	8.32%
筋・骨格	11.37%	8.78% (↓)	11.93%
精神	2.77%	4.69% (↑)	2.46%
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	0.22%	0.11% (=)	0.22%
慢性腎不全	1.74%	1.98% (=)	6.73%

資料：令和3年度 KDB データ

市全体との差が±0.5%以内：(=)，市全体との差が0.5%より高い(↑)，低い(↓)

ウ 介護の状況

① 基本情報

(対象) 65 歳以上

	地区	(市全体)	前回
1号被保険者数	2,130人		2,122人
認定者数	450人		378人
認定率	21.1%	18.0%	17.8%

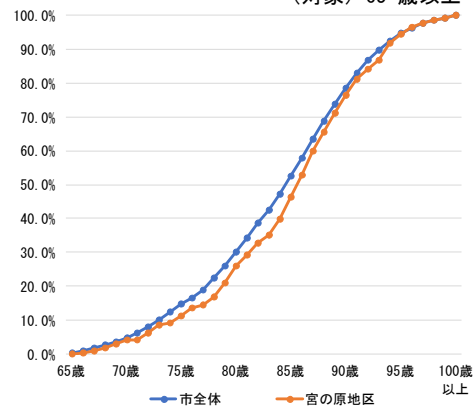
	人数	構成比		
要支援	要支援1 81人	35.3% (↑)	32.6%	34.4%
	要支援2 78人			
要介護	要介護1 82人	35.6% (=)	34.7%	34.7%
	要介護2 78人			
	要介護3 48人			
	要介護4 61人	29.1% (↓)	32.7%	31.0%
	要介護5 22人			

市全体との差が±1.0%以内：(=)，市全体との差が1.0%より高い(↑)，低い(↓)

資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

② 年齢分布（累計）

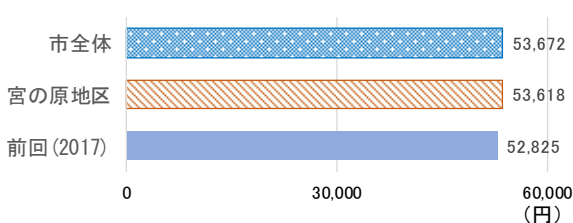
(対象) 65 歳以上



資料：令和3年度宇都宮市高齢福祉課介護台帳

③ 1件あたり介護給付月額

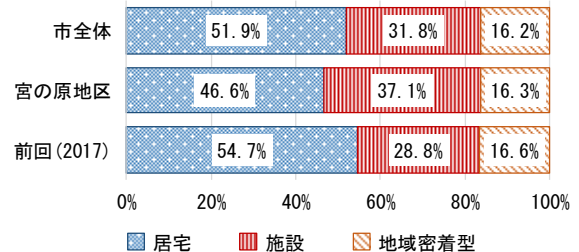
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

④ サービス別介護給付費の割合

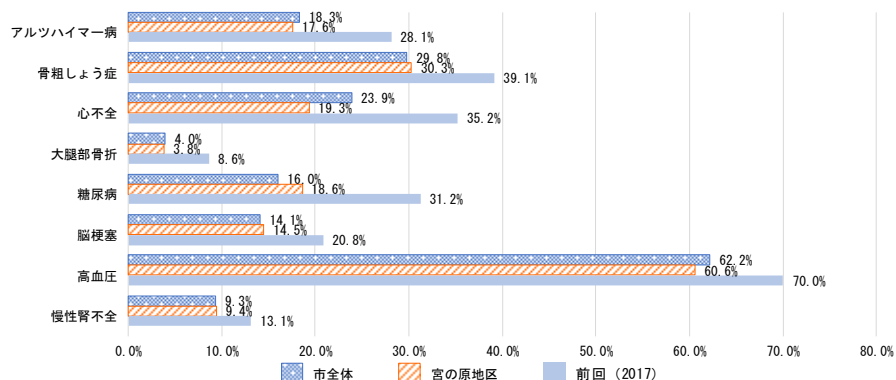
(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者



資料：令和3年度 KDB データ

⑤ 認定者の有病率

(対象) 国民健康保険及び後期高齢者医療被保険者

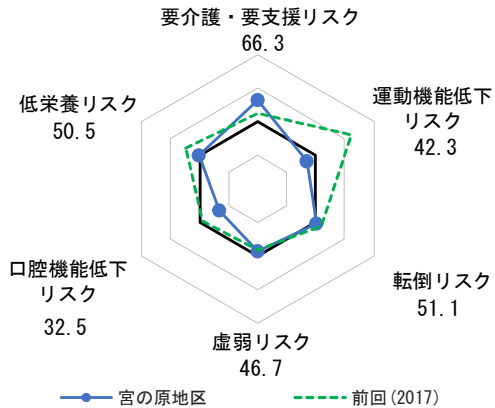


資料：令和3年度 KDB データ

(3) 生活習慣・社会参加

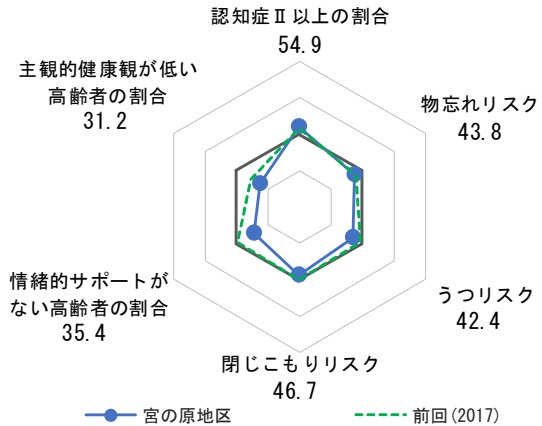
(※市全体の割合を 50 とし、上限を 90、下限を 10 とした場合の値、* 90、* 10 は上限・下限を超える値)

① 要支援・要介護のリスク (小さいほど良い)



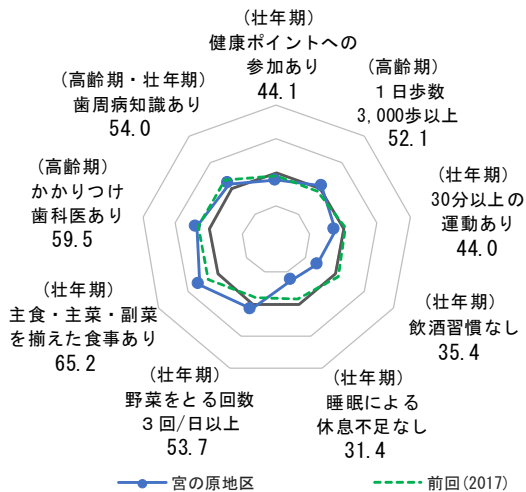
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

② 認知症リスク (小さいほど良い)



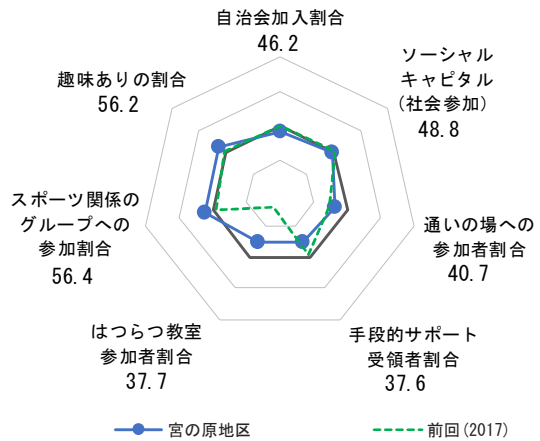
資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)・宇都宮市高齢福祉課データ

③ 生活習慣 (大きいほど良い)



資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期、壮年期)

④ 社会参加・社会的ネットワーク (大きいほど良い)

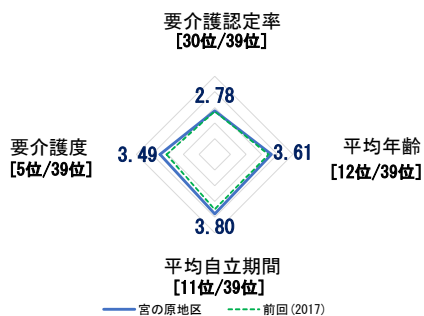


資料：令和 4 年健康意識アンケート調査 (高齢期)

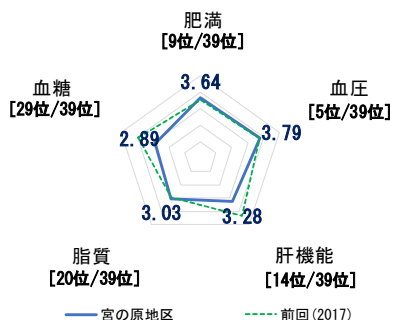
手段的サポート受領者割合 * : 看病や世話をしてくれる人がいる高齢者の割合

(4) 健康度の状況 (大きいほど良い)

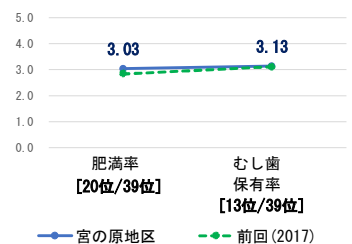
① 介護健康度

13.69 点/20 点 (^^)
【9 位/39 地区】

② 生活習慣健康度

16.63 点/25 点 (^^)
【14 位/39 地区】

③ 子ども健康度

6.16 点/10 点 (^^)
【16 位/39 地区】

※各関連指標は全市を 3 点とした場合の値、市全体より健康度が高い：



低い：



(5) 地域診断

ア データからみる地域の状況

【地域資源・生活環境】

- ・ 高齢化率は、市全体に比べて高く、後期高齢者比率は高い。
- ・ 産業別就業人口構成比は、市全体に比べて「第3次産業」の占める割合が高い。
- ・ 夏まつりや文化祭のほか、体育祭などの行事や、防犯訓練など、地域活動が盛んな地域である。

【健診・医療・介護】

- ・ 特定健診等受診率は、市全体に比べて「大腸がん」は低く、「胃がん」「前立腺がん」はやや低い。
- ・ 生活習慣病リスク保有率は、市全体に比べて「脂質」はやや高く、「血圧・脂質」は低い。
- ・ 行動特性は、市全体に比べて「20歳からの体重変化10kg以上」がやや高い。
- ・ 1人当たり年間医療費等は、市全体に比べて低く、医療費の内訳をみると、市全体に比べて「がん」が高く、「精神」「糖尿病」がやや高い。
- ・ 要介護認定率は、市全体に比べて高いが、その約7割が要介護2以下となっている。
- ・ サービス別介護給付額の割合は、市全体に比べて「施設」が特に高い。

【生活習慣・社会参加】

- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「要介護・要支援リスク」が高く、「口腔機能低下リスク」は低い。
- ・ 認知症リスク等は、市全体に比べて「主観的健康観が低い高齢者の割合」「情緒的サポートがない高齢者の割合」が低い。
- ・ 生活習慣は、市全体に比べて「主食・主菜・副菜を揃えた食事あり」が高く、「かかりつけ歯科医あり」がやや高い。「睡眠による休息不足なし」「飲酒習慣なし」は低く、「30分以上の運動あり」「健康ポイントへの参加あり」がやや低い。
- ・ 社会参加・社会的ネットワークは、市全体に比べて「スポーツ関係のグループへの参加割合」「趣味ありの割合」はやや高いが、「手段的サポート受領者割合」「はつらつ教室参加者割合」は低く、「通いの場への参加者割合」はやや低い。

【健康度】

- ・ 介護健康度は、「平均年齢」「平均自立期間」は市全体に比べて高い。
- ・ 生活習慣健康度は、「肥満」「血圧」は市全体に比べて高い。
- ・ 子ども健康度は、市全体に比べて「むし歯保有率」「肥満」は同等である。

イ 地域の課題

- ・ 宮の原地区において、特定健診等受診率は市全体に比べて「胃がん」「大腸がん」「前立腺がん」など一部のがん検診において低く、生活習慣リスク保有率は「脂質」が高い。行動特性は「20歳からの体重変化10kg以上」が高く、医療費の内訳では「がん」「糖尿病」が高い状況にあることから、病気の早期発見・早期治療を図るため、がん検診の受診率向上の取組を行う必要がある。
- ・ 要支援・要介護リスクは、市全体に比べて「要介護・要支援リスク」が高く、社会参加・社会的ネットワークでは、「はつらつ教室参加割合」や「通いの場への参加者割合」は低いことから、身近な場所への社会参加を促し、外出を促進させる取組など介護予防を図る必要がある。生活習慣は、「睡眠による休息不足なし」「飲酒習慣なし」が低くなっており、身近な場所への社会参加を通じて、運動習慣や正しい休息や食習慣の定着化を図る取組を強化する必要がある。